学校番号	304

令和３年度　国語科

教科	国語	科目	国語総合（古典）	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「国語総合」　（教育出版）						
副教材等	体系古典文法　九訂版（数研出版） ルート古文　１（啓隆社） 入門・句法をマスターする　漢文クリアノート（尚文出版） 語彙力をつける　入試漢字 2600（筑摩書房） プレミアムカラー　国語便覧（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・１年生では社会人に必要となる基礎的な国語の力を身に付けることを心がけましょう。
・古典としての古文と漢文，古典に関連する文章を読むことによって，我が国の伝統と文化に対する理解を深め，生涯にわたって古典に親しむ態度をはぐくみまししょう。
・一つ一つのテーマに興味を持ち、それについて自ら調べたり、友人と話し合ったりして考えを深めてください。
・予習として、必ず本文を読んでおきましょう。授業の後には内容を振り返ってください。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査には学習計画を立てて望んでください。

２　学習の到達目標

・国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:読む能力	c：知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	文章を的確に読み取ることや、目的に応じて幅広く読むなどして、自分の考えを深め、発展させている。 伝統的な言語文化および言葉の特徴や決まり、漢文などについて理解しようとし、知識を身に付けようとしている。	伝統的な言語文化および言葉の特徴や決まり、漢文などについて理解し、知識を身に付けている。
評価方法	・行動の観察 ・記述の点検 （ノート、プリント等）	・記述の確認及び分析（ノート、プリント等） ・グループ学習、発表 ・定期考査 ・小テスト	・行動の観察 ・記述の確認 （ノート、プリント等） ・定期考査 ・小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c		
一学期	古文入門	教材:「児のそら寝」「老僧の水練」 ・人物の言動から，その人物像を読み取る。 ・古語の品詞や活用，現代語訳の仕方について理解する。	◎	◎	○	a：古文に対する興味を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:登場人物の発言や行動を読み取り、話の展開を理解している。 c：古語の品詞や活用、現代語訳の仕方を理解している。	a:行動の観察 b:記述の確認、定グループ学習、発表 c:行動の観察、記述の確認、小テスト、考査
	随筆	教材:『徒然草』「つれづれなるままに」「丹波に出雲といふ所あり」 ・作者の考えを叙述に即して的確に読み取る。 ・作者の考えを踏まえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。	○	◎	○	a：随筆に興味をもって読もうとしている。 b：登場人物の心情とその変化を読み取っている。 c：『徒然草』とその作者について、知識を深めようとしている。用言の活用の種類を身につけている。	a:行動の観察 b:記述の確認、グループ学習、発表 c:学習活動における発言内容、小テスト、考査
	物語	教材：『伊勢物語』「芥川」「東下り」「筒井筒」 ・歌物語について理解を深める。当時の社会制度を知る。 ・物語の設定や場面描写、登場人物の行動や心情を理解する。 ・古典文法の基礎を復習しながら定着させる。	○	◎	○	a：教材に興味をもって意欲的に学習に取り組んでいる。当時の社会制度や歌物語について理解し、興味・関心を高めている。 b：物語の基本的な設定について理解している。『伊勢物語』の文学史的な位置づけを理解している。 c：古典文法を理解している。	a：観察、自己評価 b：グループ学習、発表、考査、観察、ノート c：小テスト、考査
	漢文入門	教材:「漢文を学ぶ」「名言」 ・訓読の基本を理解し、一文の内容を的確に読み取る。 ・格言や故事成語を読んで、漢文の世界に親しむ。	◎	◎	○	a:漢文学習に意欲的に取り組もうとしている b:漢文の内容を理解している。訓読については、ワークブックを使って演習する。 c:漢文訓読に関する基礎知識を身に付けている、	a:行動の観察 b:記述の確認、考査、ワークブックの提出 c:記述の確認、考査

二学期	漢文 故事	教材:故事 「虎の威を借る」「蛇足」「朝三暮四」 ・漢文読解の知識や能力を発展させ、やや長い文章を読み解く。 ・故事の成り立ちや、その背景にある物語の面白さ、考え方を知る。	○	○	◎	a:漢文訓読が生み出す力強いリズムによって、歴史上の重要な出来事・生き生きとした人間の姿を感じ取っている。 b:それぞれの登場人物の人物像やお互いの関係を理解している。訓読、短い文章の読解については、ワークブックで補う。 c:句法や助字・重要語句を理解して現代語訳している。	a:行動の観察 b:記述の確認、定期考査、ワークブックの提出 c:記述の確認、考査
	物語	教材:『竹取物語』「かぐや姫の昇天」 ・『竹取物語』に始まる物語文学について理解を深める。 ・物語の設定や場面描写、登場人物の行動や心情を理解する。 ・古典文法の基礎を復習しながら定着させる。	○	◎	○	a:教材に興味をもって意欲的に学習に取り組んでいる。 ・物語文学について理解し、興味・関心を高めている。 b:物語の基本的な設定について理解している。 ・かぐや姫に関して述べられている超自然的な事柄を読み取り、『竹取物語』の伝奇的な性格を理解している。 c:古典文法の基礎知識が定着している。	a:観察・自己評価 b:観察・ノート、考査 c:小テスト、考査
	日記	教材:『土佐日記』「門出」「帰京」 ・作者について理解を深める。 ・日記文学の文学史上の位置を把握する。 ・表現のおもしろさを理解する。	○	◎	○	a:日記文学に対する興味を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:登場人物の発言や行動を読み取り、話の展開を理解している。 c:本文を音読し、重要語に注意して現代語訳し、紛らわしい表現を正確に理解している。	a:行動の観察 b:グループ学習、発表、行動の観察 c:記述の確認、定期考査
	漢文 史伝	教材:史伝「鶏鳴狗盗」 ・中国の古代史を知る。 ・漢文読解の知識や能力を発展させる。 ・描かれている人物、情景、心情などを表現に即して読み取る。	○	○	◎	a:漢文訓読が生み出す力強いリズムによって、歴史上の重要な出来事・生き生きとした人間の姿を感じ取っている。 b:登場人物の人物像やお互いの関係を理解している。多数の文章の読解については、ワークブックで補う。 c:句法や助字・重要語句を理解して現代語訳している。	a:行動の観察 b:記述の確認、定期考査、ワークブックの提出 c:記述の確認、定期考査

三学期	和歌	教材:『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』 ・それぞれの時代背景、主要歌人、歌集の特徴を知る。 ・和歌における修辞法を知る。 ・歌に込められた作者の思いを感じ取る。	○	◎	○	ａ:和歌の学習に興味を持って取り組もうとしている。 b:歌の意味や読み込まれた心情を理解している。 c:それぞれの歌集についての知識を深めている。	a:行動の観察 b:記述の確認 c:記述の確認、考査
	俳諧	教材:『奥の細道』「旅立ち」「平泉」 ・構成や展開を確かめながら文章を読み取る。 ・作品にこめられた作者の思いを感じ取る。	○	◎	○	ａ:俳諧について興味を持って読もうとしている。 b:書かれている場所とそこでの芭蕉の感慨を理解している。 ｃ：時代、俳諧、俳句について知る。 作者と作品について理解している。	a:行動の観察 b:グループ学習、発表 c:記述の確認、考査
	漢文 詩文	教材:「詩文」 ・漢詩の決まりと表現の特色について学び、唐詩の世界に親しむ。 ・描かれた状況や心情を考えながら、詩や文を味わう。	○	◎	○	ａ:唐詩の学習に意欲的に取り組もうとしている。 b:現代語訳し、詩にうたわれた状況を理解している。 ｃ：時代、俳諧、俳句について知る。それぞれの詩の詩形、押韻、対句を理解している。	a:行動の観察 b:グループ学習、発表 c:記述の確認、考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:読む能力
　　c:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。